

国立大学法人 電気通信大学
社会連携シンポジオン2015

災害ボランティアの育成と 防災における ICTの利活用の推進

プログラム

第1部 講演 13:00～14:30

1. 首都圏を襲う大地震の姿と対策
東京大学地震研究所 地震予知研究センター長・教授 平田 直
2. 地域社会との連携によるICTを用いた減災対策支援
電気通信大学大学院情報システム学研究科 准教授 山本 佳世子
3. 調布市の防災体制
調布市 防災担当者
4. 電気通信大学における防災体制
電気通信大学 防災担当者

第2部 レスキューロボット実演・大学施設見学 14:40～15:40

京都大学大学院工学研究科 教授 松野 文俊
京都大学大学院工学研究科 松野研究室 学生

第3部 パネルディスカッション 15:50～16:50

コーディネーター 宮崎 武（電気通信大学教授・社会連携センター長）
パネリスト 平田 直（東京大学地震研究所教授）
松野 文俊（京都大学教授）
調布市 防災担当者
山本佳世子（電気通信大学准教授）
水戸 和幸（電気通信大学准教授）

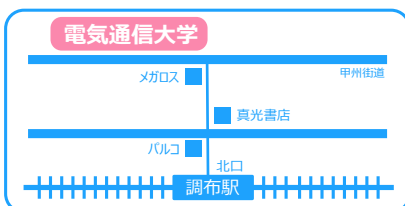
平成27年11月21日（土）

13:00～17:00

会場：電気通信大学

創立80周年記念会館3階フォーラム

入場無料



問い合わせ：電気通信大学社会連携センター desk@ccr.uec.ac.jp

国立大学法人電気通信大学 <http://www.uec.ac.jp/>

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 京王線調布駅北口徒歩5分

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

本シンポジオンは、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の
「平成27年度科学技術コミュニケーション推進事業問題解決型科学技術コミュニケーション支援 機関活動支援型」により
実施しています

災害ボランティアの育成と 防災におけるICTの利活用の推進

プログラム

第1部 講演 13:00～14:30

首都直下型地震の被害想定と対策、ツイッターやフェイスブックなどのSNSを活用した減災対策支援、地域社会の連携による災害ボランティア育成、地域防災のありかたなどについて講演を行います。

1. 首都圏を襲う大地震の姿と対策（東京大学地震研究所地震予知研究センター長・教授 平田 直）
2. 地域社会との連携によるICTを用いた減災対策支援
（電気通信大学大学院情報システム学研究科准教授 山本 佳世子）
3. 調布市の防災体制（調布市 防災担当者）
4. 電気通信大学における防災体制（電気通信大学 防災担当者）

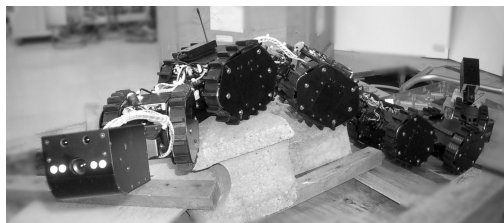
第2部 レスキューロボット実演・大学施設見学 14:40～15:40

災害現場の瓦礫内から、要援護者を探索する蛇型ロボットなど、被災地での情報収集を行うレスキューロボットの
実演を行います。また、避難所機能の強化された本学の新体育館などの施設見学も行います。

【実演】

京都大学大学院工学研究科教授 松野 文俊
京都大学大学院工学研究科松野研究室 学生

災害時に瓦礫内での要救助者の探索を行うレスキューロボット、KOHGA



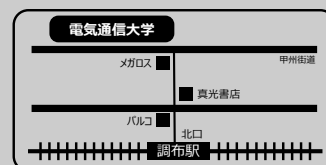
第3部 パネルディスカッション 15:50～16:50

防災・減災機能の強化に向けて、自治体、地域、教育機関の連携におけるメリットや課題について、
参加者の皆さんと意見交換を行います。

コーディネーター 宮崎 武（電気通信大学教授・社会連携センター長）
パネリスト 平田 直（東京大学地震研究所教授）
松野 文俊（京都大学教授）
調布市 防災担当者
山本佳世子（電気通信大学准教授）
水戸 和幸（電気通信大学准教授）

平成27年11月21日（土） 13:00～17:00

会場：電気通信大学 創立80周年記念会館3階フォーラム
入場無料



問い合わせ：電気通信大学社会連携センター desk@ccr.uec.ac.jp
国立大学法人電気通信大学 <http://www.uec.ac.jp/>
〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1
京王線調布駅北口徒歩5分 ※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。